

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 12月 1日

事業所名 児童デイサービス すだっちイースト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	・活動の内容によって1、2階を分けて活動している	・宿題をする時に集中したい児童用の周囲を囲うコンバク的なパテーションが必要
	2	職員の配置数は適切である	7	1	・国のガイドラインに沿って配置している ・緊急の場合も柔軟に調整している	・担当児童だけでなくグループとしてみる事で全体を見るようにした
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2	・玄関にある段差は可動式のスロープが用意してある ・階段での介助が必要でなくても手摺を持って上り下りするように日常的に声掛けをしている	・階段に手すりはあるが付き添いの必要な児童への配慮や付き添いが必要である
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	・事業所内会議や朝夕の朝礼で申し送り事項に抜けがないように振り返りで周知している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	・事業所内会議で周知している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	・事前にアンケート公開について通信やSNSで発信している	・アンケートを公開した上で再度、きたんないご意見へのご提案も必要
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	・理事会で協議していく	・第三者による外部評価を検討する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	・事業所内で虐待防止・感染予防対策・療育等の研修を定期的に行っている	・研修報告にとどまらず、実際の現場での具体的な支援への話し合いや周知も必要 ・コロナ禍の中、積極的にオンライン研修に参加している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	・ケースごと職員全体で話し合いその中から問題面、考慮面を考慮し作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	・個別支援に関しては外部療育センターと連携し支援について話し合っている	・標準化されたアセスメントツールの総合的な活用が課題である
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・長期休みは開催日分担当制で活動プログラムを立案している	・立案・工夫はされていると思うが、ニーズの変化に柔軟に対応していく必要はある
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・児童達からの企画を取り入れ実行している	・立案・工夫はされていると思うが、ニーズの変化に柔軟に対応していく必要はある
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	・個別支援目標に沿って1日の目標を決めている	・立案・工夫はされていると思うが、ニーズの変化に柔軟に対応していく必要はある
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	・合理的配慮のもと集団で経験できるよう作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・朝夕のミーティング時に打ち合わせをしている ・平日の昼からも昨日の振り返りを行い、児童の状況を午後出勤の職員と情報共有している	・役割分担を超えフォローしあいながら全員で児童全員をみるチームワークを引き続き深めていく必要がある
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	・職員全員で話しやすい雰囲気作りをしている ・振り返りの記入欄を拡げた	・日々事業所内において児童について話が盛り上がる職場環境作りを引き続き目指す
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・ケース記録をこまめに確認している	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・スタッフ間でモニタリング以外でも児童の特性について話し合っている ・全体会議で実施	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	0		固定化した個別活動、全体活動や新しいゲーム、工作活動等の活動を取り入れた支援を行っている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	・児童発達支援管理責任者が参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	・送迎時に情報共有に努めている ・日頃から学校側と話しやすい良好な関係作りを心掛けている	・学校によって情報共有に偏りがある
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	5	・医療的ケアまではいかなくても食べ方の確認等、保護者から聞き取っている	・対象者は現時点ではないが必要であれば連携体制を整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	5	・個別にはないが保護者、相談員による情報をファイルにまとめ共有している	・相談員と情報共有はできているが保育所等とはしていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	5	・保護者、相談員より情報を共有している	・高校を卒業した児童がいらないが準備していく必要はある
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	・個別支援を専門機関と連携し研修を行っている	・今後専門機関との連携を増やし個別支援を手厚い支援にしていける必要がある
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7	・コロナ禍で機会が減っている	・連絡会等の創設が必須
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	7		・官民一体の総合的な途切れのない支援のために積極的に参加したほうがよい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・SNS,送迎時等その日の出来事を伝えている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	4		・保護者の考え方を大切にしつつも改善提案も必要
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	・児童発達支援管理責任者が契約時に行っている	・上限一杯で利用されている方への利用への再確認が必要
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	・相談があった場合情報共有し難しい相談は持ち帰り児発管に報告し、児発管から連絡してもらっている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6		・コロナ禍のため開催が難しい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	・職員間で周知し管理者へ報告している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	・SNSを使いグループ、個別連絡。既読にならない場合、電話を使い双方の確認漏れのないよう発信確認している	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	・鍵つきロッカーで管理している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5	・パトカーが来る訓練は自治会長に報告している ・児童達も公園に行く際等も挨拶をしている	・地域に事業所を知ってもらう活動企画ができればいいと思う ・コロナ禍で難しい状況である

7	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書式化して保護者に渡している</li> <li>・緊急避難を行なったが落ち着いた声掛けをし児童が怖がらずに避難できた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の情報を流し保護者と共有してもらっている</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回火災による避難訓練と地震による避難訓練、防犯訓練を消防署、警察署の協力のもと実施している</li> <li>・浸水域想定避難訓練をおこなった</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に事業所内で研修をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去における他事業所等の事例を踏まえた研修も必要</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の同意の上、車椅子上での座位保持と転落防止のための脱着ベルトを使用している(送迎者⇄事業所・自宅)</li> </ul>	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの情報のもとに適切に対応している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の目に付くところへ表示しておく</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・些細な事でも作成し全体周知に心がけ作成している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の児童への連携支援のためにも必要</li> <li>・定期的に事業所内会議でヒヤリハットの事例検討会議を行っている</li> </ul>